

科名 消化器科

対象疾患名 根治切除不能又は転移性の食道癌

プロトコール名 オプジーボ+ヤーボイ(食道癌)

Rp	形態	ルート	薬品名	投与量	時刻・コメント	1	...	15	...	29	...	42
1	点滴注	メイン	生食	250mL	ルートキープ 残破棄可	↓		↓		↓		
2	点滴注	側管	オプジーボ	3mg/kg	30分かけて	↓		↓		↓		
			生食	100mL	投与前後生食フラッシュ							
3	点滴注	側管	ヤーボイ	1mg/kg	30分かけて	↓						
			生食	30mL	投与前後生食フラッシュ オプジーボ投与後30分休薬し投与							

★1クール=42日

～MEMO～

催吐レベル1(10%未満)

最長24か月(17コース)まで

<オプジーボ>

本剤作用機序により、過度の免疫反応による副作用が現れることがある。発現した事象に応じた専門医と連携すること。

特に注意を要する副作用:間質性肺疾患、大腸炎、重度の下痢、肝炎、神経障害、副腎障害、重度の皮膚障害

infusion reaction、重症筋無力症、筋炎、1型糖尿病、甲状腺機能障害、腎障害、脳炎、静脈血栓症

インラインフィルター(0.2または0.22ミクロン)を使用し、投与前後に生食でフラッシュする。

生ワクチン、弱毒生ワクチン、不活化ワクチンとの併用により本剤のT細胞活性化作用による過度の免疫反応が

起こる恐れがあるので併用には注意すること。

<ヤーボイ>

オプジーボ投与後ルートキープにて30分休薬後投与開始

オプジーボとの併用において下垂体炎、下痢、大腸炎、副腎不全の頻度が高くなるとの報告があるため特に注意すること。